

壮大な草の根運動が始まりました。卓球の女子日本代表監督として五輪2大会連続の団体メダルに導いた村上恭和さんが、全国の幼稚園、保育園に子供用卓球台を寄贈するプロジェクトです。第1号は大阪府貝塚市。19日に同市立西幼稚園で贈呈式がありました▼生涯スポーツの卓球を通して健全な成長を―。

この理念にロート製薬が賛同。まず1000台の支援を買って出ました▼名将の夢は1000台の提供。競技人口拡大の情熱



は、大きな夢が原動力になっっています。「中国をいかに倒すか。結論は、多くの子どもが早くから卓球に慣れ親しむことで

す」▼幼少期から親の英才教育を受けた「第2の福原愛」の活躍が目立ちます。卓球一家育ちだけでなく、一般家庭からも台頭してほしい。野球やサッカーのようなメジャースポーツ化がこの普及活動の根幹です。十数年後、温泉卓球ならぬ、お遊戯卓球育ちの逸材が誕生するかもしれません。(倉世古 洋平)